

登 録 速 報

農 業 名：ベストパートナー豆つぶ250（登録番号：第 22809 号）

適用拡大登録月日：平成25年8月7日

適用拡大登録内容：作物名「直播水稻」を追加する。

（変更後）変更作物のみ

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ピリミスルファンを含む農業の総使用回数
直播水稻	水田一年生雑草 及び ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ	イネ出芽揃期～ ノビエ 2.5 葉期 但し、収穫 60 日前まで	壤土～ 埴土	250 g /10a	1 回	湛水散布	全域 (九州を除く)	2 回以内

注意事項の変更：

【変更事項】

[変更前]

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ（北陸は2葉期まで）、ミスガヤツリ（北陸、近畿・中国・四国は2葉期まで）、ヘラオモダカ（東北は2葉期まで）は3葉期まで、ウリカワ（北陸は発生始期まで）は2葉期まで、オモダカ、コウキヤガラは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前までが本剤の散布適期である。

[変更後]

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ（北陸は2葉期まで）、ミスガヤツリ（北陸、近畿・中国・四国は2葉期まで）、ヘラオモダカ（東北は2葉期まで）は3葉期まで、ウリカワ（北陸は発生始期まで）は2葉期まで、オモダカ、コウキヤガラは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。

【追加事項】

- 直播水稻に使用する場合、以下の点に注意すること。
 - 出芽前のイネに対して薬害を生じるおそれがあるため、イネの出芽が揃わない場合は、イネの不完全葉期以降に散布すること。
 - イネの根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用を避けること。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布すること。

以 上